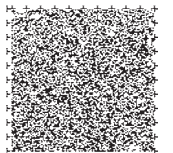




みどり豊かな 住まいのみやこ
杉並区基本構想



1 基本構想の役割

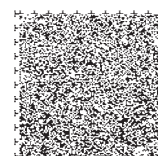
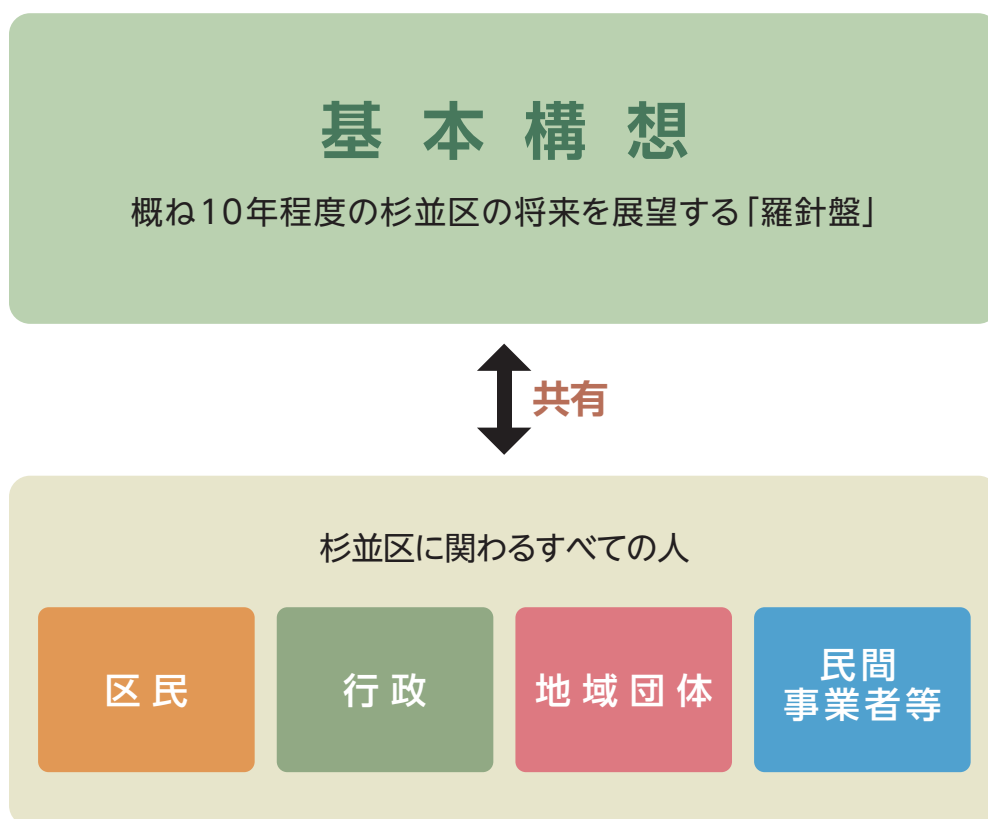
この基本構想は、杉並区の将来の姿と、進むべき方向性を描くものであり、区の近未来に向けた道筋を指し示す「羅針盤」とも言えるものです。また、区が、区政を担う責任主体として行政運営を行う際の、すべてのもととなる考え方でもあります。

今後生じる社会経済環境の変化を正確に予測することは難しく、未来への道筋をはっきりと描くことには困難を伴います。そのような中で、このまちを将来にわたってより良いまちとしていくため、この構想は、区と区民はもちろん、地域団体や民間事業者等を含めた、杉並区に関わるすべての皆さんとともに将来を展望し、共有する構想として策定します。

2 基本構想の期間設定

この基本構想は、今後の社会経済環境の変化を見据え、実効性や実現可能性を確保することを念頭に置き、概ね10年程度の将来を展望する構想として策定します。

基本構想の概念図



これまでの基本構想で掲げてきた大きな方向性を継承しつつ、今後の社会経済環境の変化を踏まえ、さらに区をより良いまちに発展させていくことを念頭に、今後概ね10年程度を展望し、杉並区の基本的な方向性を表す3つの理念を示します。

3つの基本的理念

認め合い 支え合う

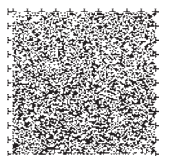
様々な価値観を互いに認め合い、支え-支えられる地域社会をつくっていくことにより、地域で暮らす人たちが、誰一人として差別されず、取り残されない社会にしていきます。「人生100年時代」を見据え、すべての区民が自らの人生を豊かに生きていくことができる社会を築いていきます。

安全・安心のまち つながりで築く

首都直下地震や、気候変動に伴う大規模な自然災害に対応し、誰もが安全・安心に暮らし続けることができる環境を築くために、まちのつながり、人のつながりを大切にします。区民、団体、企業、行政を含むこのまちに関わるすべてが主体となり、力を合わせて、まちの将来を築いていきます。

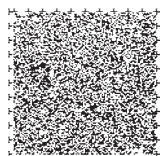
次世代を育み 引き継ぐ

杉並の次代を担う子どもを地域社会全体で育んでいきます。暮らしの基盤である、豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、地球規模の視野に立って一人ひとりが行動します。わがまちの歴史を知り、まちに根付く文化や遺産、自治の歴史を継承し、このまちに誇りを感じながら暮らす人々を増やします。



4 第

分野ごとの 将来像と取組の 方向性



分野ごとの将来像を以下のとおり描き、
その実現に向けて、取り組んでいきます。

防災
防犯

みんなで作る、
災害に強く、
犯罪を生まないまち

まちづくり
地域産業

多様な魅力と交流が生まれ、
にぎわいのある快適なまち

環境
みどり

気候危機に立ち向かい、
みどりあふれる良好な環境を
将来につなぐまち

健康
医療

「人生100年時代」を
自分らしく健やかに
生きることができるまち

福祉
地域共生

すべての人が認め合い、
支え・支えられながら
共生するまち

子ども

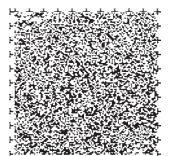
すべての子どもが、
自分らしく生きていくことが
できるまち

学び

共に認め合い、
みんなで作る
学びのまち

文化
スポーツ

文化を育み継承し、
スポーツに親しむことの
できるまち



子ども

子ども

すべての子どもが、 自分らしく生きていくことが できるまち

次代を担う子どもたちが未来への歩みを進めるためには、多様性が尊重され、持てる力を発揮できる社会にしていく必要があります。子どもたちが、家庭や地域でその権利を守られ、様々な経験を通して未来をつくる力を育むまち、子どもと家庭を地域社会全体で支えるまちを目指します。

取組の方向性

1 子どもの権利を大切にし、 子どもが主人公となるような取組を進める

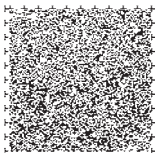
- 子どもの権利を尊重し、子どもたちが自由に意見を言うことができる一方で、子どもたちの声を幅広く吸い上げ、耳を傾けることができる地域社会をつくりまします。また、子どもが地域で安心して生活できるよう、孤立・虐待から守ります。
- すべての子どもがその家庭環境に左右されず、将来の選択ができるようにしていきます。

2 子どもの個性に応じた育ちを 社会全体で支援する

- 一人ひとりの子どもの個性に応じた育ちをサポートする地域づくりを進めるとともに、子ども自身の生きる力を育むため、多世代間の交流や様々な遊び・体験の場を地域全体でつくりだします。

3 安心して子どもを産み、 育てられる環境をつくる

- 安心して子どもを産み育てられるよう、妊娠・出産・子育て期まで一貫して支援する社会づくりに取り組みます。
- 子育て支援活動に主体的に参加する地域住民や子育て支援団体、企業と区が一体となり、子育て中の養育者を支えます。



重点的な取組

子どもの命と権利を守る児童相談体制の強化

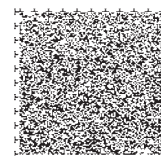
子どもを孤立や虐待から守るとともに、支援を必要とする子どもや家庭に対する取組を進め、子ども家庭支援センターの機能の充実や児童相談所の整備を含め、子どもの権利擁護及び児童相談体制の強化を図ります。

子どもも親も、気軽に安心して過ごせる場所の整備

多様な主体と連携し、子どもや子育て中の養育者が、安心して自由に過ごせる場所を確保します。また、学校施設等を活用し、子どもたちが、安全・安心に過ごせる場所を整備します。

子育てを地域社会で支える取組の充実

子どもの成長を支え親子の健康を守る取組や、保育園・学童クラブ等における質の高いサービスを提供します。また、子育てを応援する地域づくりの取組や、地域の力を生かした子育て支援策の充実を図ります。



学び

学び

共に認め合い、 みんなで作る 学びのまち

将来を予測することが困難な時代において、自分らしい道を切り拓き「人生100年時代」を豊かに生きるとともに、他者と協働しながら新たな価値を生み出し、より良い地域をつくるためには、誰もが学び続けられる社会が必要です。区民一人ひとりが共に認め合い、希望を実現することの楽しさを実感しながら、学び合い、教え合うことのできるまちを目指します。

取組の方向性

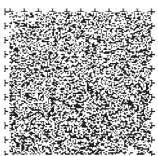
1 「人生100年時代」を自分らしく いきいきと生きるための学びを支援する

- 将来を予測することが難しい社会を誰もが自分らしくいきいきと生きるため、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯学び続ける力を養うことができる環境を整えます。
- 誰もが学び続け、また学び直せる機会を得られ、かつ、他者とかかわり、つながりあいながら、新たな価値を生み出すことや社会の主役となることのできる学びの環境を整えます。

2 学びを通して 誰一人取り残されない社会を実現するための 条件と環境を整える

- 区民の多様な交流・体験・学習活動やコミュニティ活動を一層推進するため、学校・社会教育施設を「学びのプラットフォーム（※）」とするなど、これまで以上に活用することができる環境づくりを進めます。
- AIを活用した知識創造型のまちを目指し、これまでの対面による学びの良さを生かしつつ、ICTの活用を図り、一人ひとりの状況に応じた学びや探究を支えます。学びの成果を共に教え合うことにより、認め合い、励まし合う、誰一人として取り残さない学びのまちづくりを進めます。

※プラットフォーム：人やものが交わり、つながる基盤となる土台や環境



重点的な取組

ICTを活用した学校教育の質の向上

ICTの活用を通じて、一人ひとりの子どもに応じた最適な学びと、他者と学び合い教え合う協働的な学びを提供します。

学校・社会教育施設の活用を通じた学びの支援

区民が交流し、学び合い、教え合う拠点のひとつとして、社会教育施設に加え、学校施設を積極的に開放するなど地域の人々が活用できる仕組みを整えます。

人と人との学びをつなぐ地域人材の活動支援

人々による新たな価値の創造を支援する社会教育士(※)やファシリテーターなど、地域人材の活動をサポートする取組を進めます。

※社会教育士：地域の教育、福祉、防災、環境、産業などの領域で、人々の学びの支援やネットワークづくりを通して人づくりや地域づくりに関わる役割を担う専門人材の称号

